

里山から庭先まで

麻生にヤマユリを再生させましょう

ヤマユリ通信 植栽号 vol.4-3

麻生区地域課題対応事業 麻生ヤマユリ植栽普及会 H24. 12. 28 発行

◆もくじ◆

- ▶ヤマユリ鉢植え講習会：今年も、賑やかに でも真剣に取り組みました！…… 1
- ▶新植栽地紹介：今年、植栽地が新たに4か所増えました！…… 2
- ▶10月～12月植栽地便り：ヤマユリ再生活動に取り組んで6年…… 3
- ▶ヤマユリ歳時記：ヤマユリの種による増殖（土中埋設法）…… 4



▲11月秋深まる「万福寺おやしろ公園」 下草刈りを終えた中で立ち枯れしたヤマユリの風景

恒例の鉢植え講習会

今年も、賑やかに でも真剣 に取り組みました！



去る11月12日第10回ヤマユリ鉢植え講習会を区役所を会場に開催しました。

ヤマユリの鉢植え講習会を実施して6年、毎回、定員を大幅に超える応募者があり、関心の高さに驚かされました。しかもほとんどが初参加者。今年は、ヤマユリが区の指定されたことも好影響したのでしようか。

講習会の内容は、球根の鉢植え実習のみではありません。ヤマユリの栽培の歴史に始まり、ヤマユリの特性から管理育成の仕方まで、さらに麻生区内での当会の植栽普及活動の様子を紹介など盛り沢山の講義を含めて2時間30分。

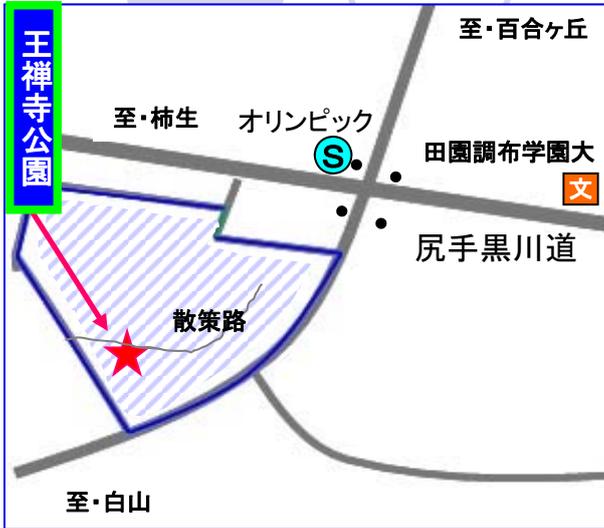
参加者の多くが高齢者ですが、その目は輝き、質問も飛び交う熱気。参加者アンケートにも、ヤマユリの特性を知った驚きと育成への挑戦意欲、ヤマユリが区の指定されたことへの背景がより深まったことなど多くの感謝の言葉が寄せられました。主催者にとり、次回への強い励ましとなりました。支援者に感謝！

今年、植栽地が新たに4か所増えました！

ヤマユリの植栽普及活動に取り組んで丸6年(左3ページ参照)。植栽地も安定した育成管理ができるようになってきました。最近では、他の公園緑地からもヤマユリを植えていただけなにかとの要望も増えてきましたが、メンバー数の伸び悩みと高齢化が進み、さらなる緑地へと拡げることへの限界を感じてきています。そこで、今年度の活動方針に地域の緑地ボランティアが中心になって取り組んでいただける公園緑地には、メンバーが球根を持参の上、植栽のお手伝いすることを加えて臨みました。

幸いにも次の4つの公園管理ボランティアとの協議が纏まり、去る11月、協力して球根の植え付けを行うことができました。

三井百合丘第3地区公園愛護会



▲植栽地の柵の整備作業



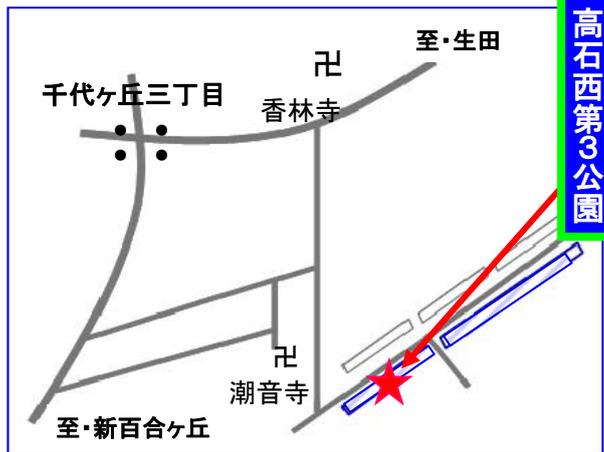
▲南西向き斜面の木陰に植え付け



▲植え付け後、支柱・看板立て



▲小球根40球余りも植え付け



高石西町会有志



▲およそ幅20m×長さ300mもの細長く盛り土したような地形。土壌は良好だが、うまく育つか祈る思い。植え付け後、支柱を立て



弘法の松公園管理運営協議会



▲東向き斜面 散策路の両脇に、さらに北向き斜面にも植え付け



▲植え付け後、当協議会のみなさんと一服

百合丘第3公園管理運営協議会



▲植え付け後、当協議会のみなさんと一服



▲東南向き急斜面に、足を取られながら球根と小球根を植え付け

10~12月植栽地便り!

今から10年前、麻生区内の野生草花ヤマユリが、このままでは絶滅してしまふと先輩たちが再生に取り組んで4年。しかし、なかなか成果が得られず難航。その反省に立つて、現在のヤマユリ植栽普及会が設立されて6年。地域の緑地ボランティアと協働して推進する活動集団へと衣替えし、ヤマユリの復活再生に取り組んできました。

今やメンバーの古株は、ベテランの顔をしています。スタート時は、全員が素人集団。県外のヤマユリ研究家から一から手ほどきを受け、試行錯誤しながらやつとヤマユリ自生への明かりが見える所まで辿りついたと思います。これからどう継続していくかが大きな課題です。

当植栽地は、公園ではなく「岡上梨子ノ木特別緑地保全地区」で、まさに里山内にあります。東西約150m、奥行き約30mの東向き斜面は、当会で最大の植栽地です。今年、開花時の散策には、実に趣のある場所になってきました。ただ今夏は、酷暑が続き、7、8月の草刈り管理の手抜きが祟り、ツル草、雑草が伸び放題。9月、11月まで毎回、雑草駆除に汗を流しました。

9月、この植栽地もツル草が生い茂り急斜面のため草刈り機は使えず鎌による手作業で汗を流しました。「下麻生まつのみき緑地」は植栽場所が3箇所。いずれも順調に生育しています。「王禅寺すぎのみき緑地」は、杉林の東南向き急傾斜地でヤマユリには好適地ですが、カラス瓜の球根が多量にあり、今年も掘取り作業を行い11月に追加球根の植え付けを行いました。

万福寺地区の植栽地は、「万福寺おやしる公園」と「麻生市民館裏」の2箇所。今年も11月の植栽期に向けて、雑草と戦い大いに汗を流しました。おやしる公園では、今年、散策路が整備され、開花期には区民のみならずにもヤマユリの美しさを堪能いただけたことでしょう。

一方、市民館裏は、区内のヤマユリの固有種を育成する植栽地として、地域女性メンバー一同励んでいます。

学園の意向で、クヌギが生い茂る「川崎授産学園緑地」から学園内のチガヤの茂る東向き斜面へ移植して二年。作業道も整備して育成管理を進めましたが、土壌に問題があるのか生育が芳しくないため、活動を取りやめる方向で検討しています。



▲看板も新しく立て換えて、一服



▲11月 きれいに整備された植栽地に、球根を追加植え付け



▲9月~11月 3回に分けて、ツル草の除去、下草刈り、落ち葉、枯れ草の掻き出し



▲11月 王禅寺すぎのみき緑地、球根の植え付け



▲11月 下麻生まつのみき緑地、球根の植え付け



▲9月 下麻生まつのみき緑地、繁茂したツル草などの除去



▲11月下旬 球根20球、小球根30球を植え付け



▲11月 球根植え付けのための枯れ葉の掻き出し



▲10月 下草刈り作業。エンジン草刈機は欠かせない



▲12月 冬支度した斜面。開花時、図書館の2階からの眺望が楽しみ



▲10月麻生市民館裏の植栽地斜面に茂ったクズツルの駆除に汗する



▲11月 植栽地内の下草刈りを行う。来年の生育を見守る予定

細山地区

岡上地区

王禅寺地区

万福寺地区

ヤマユリの種による増殖(土中埋設法)



ペンレート水和剤



冷凍保存用ビニール袋



良く実った蒴



水



パーミュキュライト



選別殺菌した種

①秋取りの蒴から種を取り出す。
②結実した種を選別して、薬剤(ペンレート)500倍液に30分浸して殺菌。その後、日陰乾燥する。(種の保存は、紙袋に乾燥剤と共にに入れて暗所に)

ヤマユリの種は、容易に発芽させることができません。その主な原因は、播種から発芽までに一年半近くかかるため、その間の保湿管理が難しいためではないでしょうか。その管理期間を短くする「土中埋設法」を紹介しましょう。
1月から9月まで、種を土中埋設して置いて、その後、掘り出して播種すれば、翌年3月には発芽させられる方法です。

⑦土が乾燥しないように水やり(翌年の3月下旬発芽)。



10月下旬～11月初旬には発根している

⑤そのビニール袋を日陰の土中5、6cm下に埋めておく(冬の寒さと夏の暑さに晒すため)。
⑥9月下旬頃、ビニール袋を取り出して、鉢に播種。



①～⑤を密封したビニール袋

③12月～1月頃、ビニール袋詰め資材の準備。
④冷凍保存用ビニール袋：1枚
⑤選別殺菌した種：500g
⑥パーミュキュライト：200g程度
⑦ペンレート500倍液：1000g程度
⑧袋詰め作業。
まず、⑦の袋に④の種と⑤の用土を入れてよく混ぜるようになり、優しく袋を上下する。その後、⑥の殺菌剤液を入れる。

そうなんだ 問答

最近、麻生区内でも野生動物の被害の声を聴くようになってきました。

とりわけ、ハクビシンによる、畑の作物の被害のほか、家の天井裏に住み着いたり被害が続出とか。

最近、我が植栽地・岡上の緑地で植え付けした球根が3球掘り出されたり、掘掛けの穴が4、5箇所、支柱も5、6本倒されたりと、動物が植栽地内で大暴れした跡があり、ビックリ!

「いったい、どんな野生動物がこんないたずらを...さてはハクビシンか、いやタヌキの仕業か...」

我がメンバーで語り合いましたが結論は出ません。インターネットで調べてみると、ハクビシンやタヌキは、穴掘りはしないと書かれています。さては、野良犬の仕業か...?



▲掘り出された球根

会員募集中

地域のボランティアのみなさんと一緒にヤマユリに親しみながら緑地で汗を流しませんか。

定例会議：原則、毎月第2木曜日 午後2時～4時

会場：交流館 やまゆり

植栽活動：指定の各緑地(月に1回～2回)

年会費：1,200円

★問合せ・連絡先：当会会長(事務局) 貞本 勉

TEL：090-7175-4995

E-mail：tsutomu.sadamoto@nifty.com

行事予定

1月～3月の主な予定

- ◆1月～3月 植栽地の整地作業(4地域6か所)
- ◆1月～3月 定例会会議(毎月第二木曜日午後2時～4時)
- ◆3月 来期事業計画の修正、年次総会の準備、本年度収支報告の作成

★この広報紙は、区役所のHPからも入手できます。

<らしのガイド> 魅力ある区づくり > 地域課題対応事業 > 自然・環境系の事業 > ヤマユリ植栽普及促進事業